

2022年11月12日

令和4年度 患者・地域支援センター公開セミナーを開催しました。2年振りに、地域の皆さまとお顔を合わせることができました。

「認知症のACPを考える」をテーマに、東京都リハビリテーション病院の堀田富士子先生、当院の看護師 淡路将大主任を演者に迎え、グループワークを行いました。特に「認知症患者のACPを考える」をテーマにしたグループワークではディスカッションが白熱し、時間を延長しました。ACPに正解はなく、日頃から医療、ケアを通し時間を積み重ね、信頼関係を築くことが一番重要であることを学びました。また、何より、オンライン研修では経験できない、参加者同士の雑談、何気ない会話を通して、学ぶことが多かったとのご意見を多数いただきました。

これから、地域では医療と介護が同時に必要となる方が増えていきます。訪問診療医、訪問看護師、地域包括支援センター、介護事業所の方々のお力添えがなければ自宅での療養生活は難しくなると考えます。一人一人がその人らしく最後まで、住み慣れた地域で生活ができるよう、今後も皆さまと信頼関係を深め、力を合わせていきたいと思っております。(文責：荒井久美)

